## 43. 珠算章

	考査細目	考査方法	合格年月日	認印
(1)	次に掲げる珠算検定試験のいずれか1つの第3級に合格すること。	合格証の 提示		
ア	日本商工会議所主催の珠算能力 検定試験			
1	公益社団法人全国珠算教育連盟 主催の珠算検定試験			
ゥ	公益財団法人全国商業高等学校 協会主催の珠算実務検定試験			
ェ	全国商工会連合会主催の珠算能 力検定試験			
(2)	会計係として、班の会計または家計 などの計算実務に3か月以上従事 した経験を有すること。	報告書の 提出		

考査課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

## 44. 消防章

	考査細目	考査方法	合格年月日	認印
(1)	一般家庭における火災の原因を3つ以上あげること。また、自宅の火元を点検し、点検漏れになりがちな所について説明すること。	口述または 記述		
(2)	自宅にある防火用具と消火器材の 使用法一覧表を提出すること。	作品 (使用 法)の提出		
(3)	自宅、隊本部、自校及びその付近に 火災が起こった場合、正確に消防 署へ火災通報が急報できること。	実演および 口述または 記述		
(4)	自宅付近半径 100 mにある消火 栓、防火用水に利用できる池、川な どを地図上で明示すること。	作品(地図) の提出		
(5)	山火事の多い季節(月名)とその原 因、及び山火事の消火方法につい て説明すること。	口述または 記述		
(6)	次のスカウト用具が出火または消火時、役立つ場合を説明すること。 ロープ、おのまたはなた、グランドシート、フライシート、毛布、笛、布バケツ	実演		
(7)	消防署または経験者の協力を得て、小型消火器による消火訓練の 経験があること。	報告書の 提出		
(8)	火災が起きた場合に、安全に家族を 退避させ、貴重品を搬出する計画を 立案し、提出すること。	作品(計画 書)の提出		
(9)	次の場合を想定し、自己の安全と 救出方法を述べ実演すること。	実演		
アイウエ	火災または煙に包まれた家の中から脱出する方法 幼老病者の救出法 衣服に火がついた者を救う法 火煙中から失神した者を救い出す方法			
(10)	地震の際の火元の始末について、 説明すること。	口述または 記述		

考査課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

## 45. 信号章

	考査細目	考査方法	合格年月日	認印
(1)	手旗信号法を知り、野外の150m以上離れた2点間で正しい交信符号と手順を用いて、数字を含む150字の通信文を1分間35字の速度で発受し10字以上を誤らぬこと。	実演		
(2)	任意の通信器具を自作し、実演すること。	作品の提出		
(3)	無線装置(トランシーバーなどの簡易無線、アマチュア無線などを含む)、携帯電話(メール交信も含めて)などの機能を説明し、正しい交信方法を実演できること。	口述または 記述の後に 実演		
(4)	次の信号の内、2種以上の信号内容を選択し了解し得ること。 道路標識、交通信号機、鉄道信号、航路標識、霧中信号	実演		
(5)	防災時における非常サイレンの内 容を了解し得ること。	実演		

考査課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

## 46. 森林愛護章

	考査細目	考査方法	合格年月日	認印
(1)	潅木及び喬木それぞれの10種以上を 識別し、その名称と特性を説明できる こと。	実演の後に口述		
(2)	用材となる植物10種以上を知り、それ ぞれの用途を述べること。	口述または 記述		
(3)	森林愛護のための立札などを作り、標 語、ポスターを作って掲示すること。	作品の提出		
(4)	森林を害する害虫と害獣を知り、その 防除法を知ること。	口述または 記述		
(5)	樹木の種子3種以上を採集し、たねま きした経験があること、または実生の採 集、移植の経験を有すること。	報告書の 提出		
(6)	植林に関する次の項目すべての経験を 有すること。 ア 新植 イ 間伐 ウ 下刈り エ 手入れ	報告書の 提出		
(7)	森林被害の統計を調べ、その原因について考察すること。	報告書の 提出		
(8)	森林火災の予防措置と消火法及び森 林火災発見に際してとるべき措置を知 ること。	口述または記述		
(9)	「自然保護憲章」の大要を知り、説明できること。	口述または 記述		

考査課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印